

地方自治体のSDGsコミュニケーションを加速させる、全国初の取組み。FRaU1冊まるごと「徳島県×SDGs」の雑誌の出版を企画・プロデュース。

取組開始時期	2021年8月	取組の カテゴリー	観光客の誘致・地域PR	応募部門 (○を付ける)		PF会員間連携部門	○	一般部門
1. 団体名	株式会社朝日広告社		2. 連携先の 団体	◎徳島県、講談社、徳島県関連企業各社				
3. 取組 目的	地方自治体の持続可能な取組みをSDGsトップメディアを活用し、ステークホルダーにわかりやすくPRすることで、地元への愛着醸成と関係人口拡大を狙うコミュニケーション企画。			4. 関連する ゴール				

5. 取組経緯

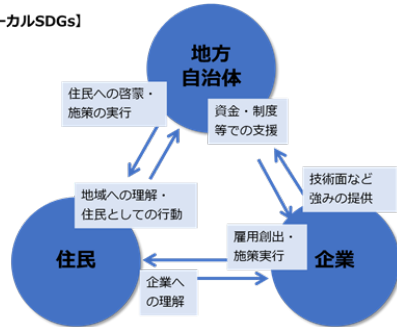
朝日広告社と講談社の持続可能な領域でのユニット「C-biz SDGs」が起点となり、地方自治体のSDGsアクションに着目。すでにSDGsメディアとして高い実績のあるFRaU-SDGsの新レベルとして、「1冊まるごと自治体」を企画。SDGs先進県として注目した「徳島県」にお声がけし、全国初の取組みとして2021年10月刊行するに至った。

6. 取組概要（100字以内） ※ 1次選考にて、投票ページに掲載します

地方自治体のSDGsを1冊まるごと雑誌で刊行する全国初の取組み。制作過程で官民が連携する共創スキームです。徳島県のSDGsを発信、旅の楽しさも紹介する新しい地方創生コミュニケーションのモデルです。



【ローカルSDGs】



取組のポイント（3つの視点）

地方創生SDGsの視点

当社調査では、自治体が発信する情報を「よく見ている」「時々見ている」のは全体で42.7%。特に20代は25.5%と低く、若い年代ほど見ていない状況。一方、自治体のSDGsの取組みを知れば、自治体への「魅力が増す」「住み続けたいと思う」など、より好意度が上昇する結果に。取組みの認知促進の重要性を感じた。

ステークホルダーとの連携

地方創生SDGsの推進には、官民の連携が欠かせない。「まるごと一冊徳島県」をつくる過程で、県内市町村・地元企業の官民連携で進行していくことで、相互のSDGs取組みへの意識共有のきっかけとなり、地元を盛り上げる官民の郷土愛が刊行につながった。

モデル性・波及性

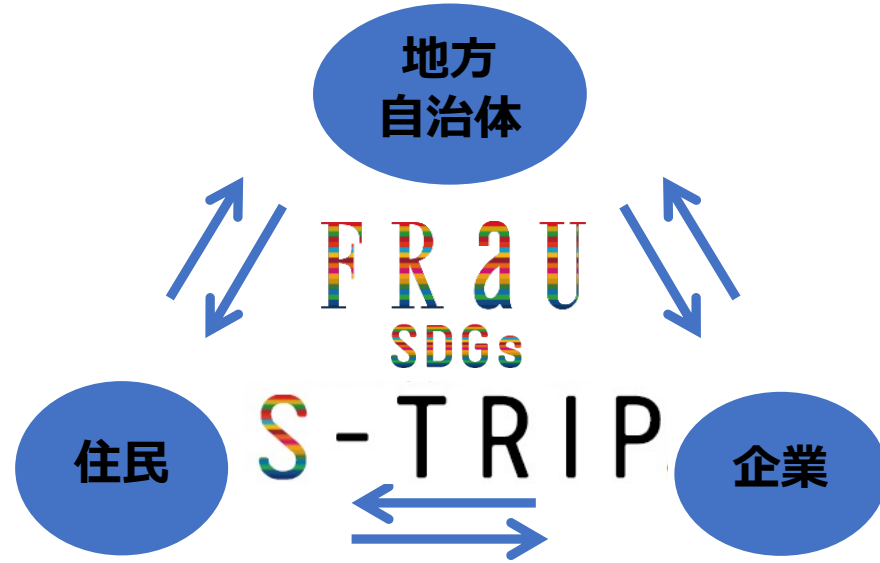
「まるごと一冊徳島県」は、制作過程で官民が連携する、“地方創生共創スキーム”。また、地方自治体のSDGsの取組みを雑誌で1冊まるごとPRする初の事例となり、他の自治体の取組みを紹介するモデルケースになりうる。今後、FRaU-SDGsの新レベルとしてシリーズ化していく。

7.取組詳細 (取組内容の詳細及び取組によって得られた成果、今後の方向性等)

- 徳島県×C-biZユニット(講談社×朝日広告社)による共同記者会見実施(8/27)

- FRaU-SDGs「S-TRIP徳島」表紙 (10/26刊行)

- ローカルSDGsコミュニケーション推進スキームとアクションによる効果



「徳島愛」

徳島県はじめ13の地元企業・大学が応援してくれました!

ブランディングやPR活用で**観光拡大**

移住促進など**関係人口の増大**

企業との連携
地元経済活性化・産業振興

SDGs広報・周知
県内・県外

県民の**意識変容**
郷土愛が強まる

モデルケースとして
他県へのアピール

■ 今後の展開

「ローカルSDGs」をテーマにしたFRaU-SDGsの新レーベルを開始。

今後、47都道府県、市区町村での1冊まるごとを企画・プロデュース推進するなど、コミュニケーションの支援をしていきます。